

日本版改良藤田スケールに関する ポスター発表

第97回アメリカ気象学会(AMS)年次総会
H29.1.22-26

気象庁

●平成29年1月22日～26日

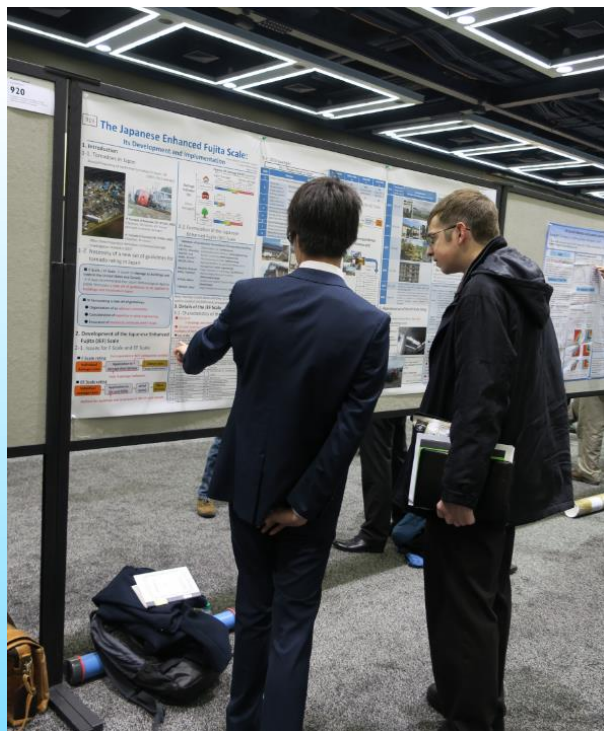
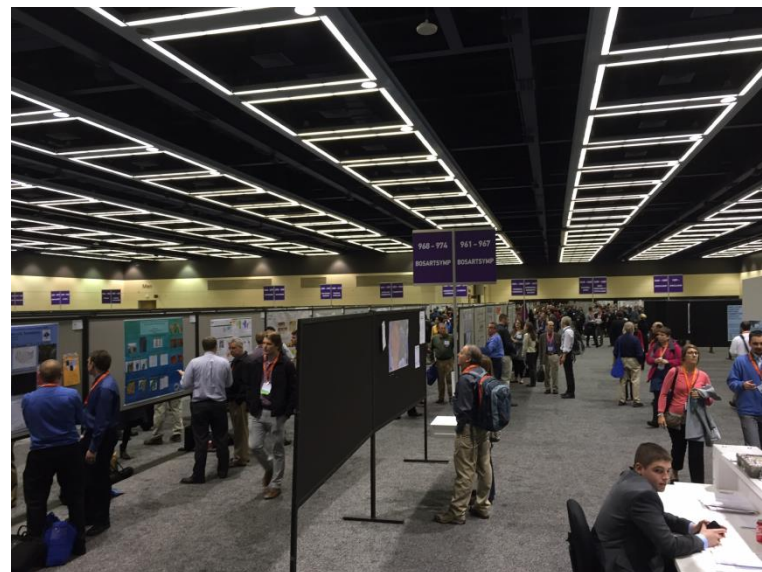
アメリカ・シアトル ワシントン州コンベンションセンター
第97回アメリカ気象学会年次総会

●“Special Symposium on Severe Local Storms:
Observation needs to advance research, prediction and
communication”

シビア・ローカル・ストームに関する特別シンポジウム

●日本版改良藤田スケールの策定経緯と特長について
ポスター発表を行った。

▼ポスター会場の様子



○「日本版改良藤田スケールに関するガイドライン」の英訳に興味を持つ人が多かった。

○「米国ではEFスケールを改善することを考えており、米国土木学会(ASCE)とも連携して作成していきたい。その際、日本版改良藤田スケールの策定ではどのように風工学の知見を取り入れたかを参考にしたいので、是非JEFスケールに関するガイドラインの英訳が完成したらメールで送ってほしい。また、現地調査を行う職員の育成など、運用面においてもさまざまな課題があると思うので、今後も議論する等連絡を取りたい。」

(NOAAのDonald W. Burgess氏)

◀発表の様子